

(別紙4(2))

事業所名: グループホームほのぼの新館

目標達成計画

作成日: 令和3年12月16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36 (14)	現在、リビングや廊下に、入浴者の入浴の有無や排泄回数が記載されたチェック表を掲示している。プライバシー保護の観点からも、入浴者や訪問者の目に入らないような工夫をすることが望まれる。また、入居者の状況や本人の使い勝手に応じてではあるが、使用していないポータブルトイレは可能な限り目隠し等をするなど配慮することが望ましい。	現在行っているチェック表を用いた記録の方式をやめ、プライバシーに配慮して目に留まるところに掲示しないよう新たな記録の手段を構成する。また、ポータブルトイレについては日中、目隠し等をすることを検討する。	指摘を受けた後、スタッフ会議にて今後の記録の取り方について議論した。その結果、プライバシーの保護を目的として、リビング等での表示をやめ、職員以外の目には留まらないところで記録を行えるよう、記録を行う内容を精査することも含めて検討を実施している。また、その会議の中で、ポータブルトイレの目隠しについても検討し、すぐに必要な方に実施している。	3ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。